

のびゆく苫小牧 選ばれるまち苫小牧へ

太平洋に臨む苫小牧は、16万6千人が暮らす、北海道で4番目に人口が多い都市です。
国際拠点港湾である「苫小牧港」と北海道の空の玄関口「新千歳空港」のダブルポートを擁する交通の要衝として、多様な産業が集積しており、北海道をけん引する産業拠点都市として発展する活きみなぎるまちです。

また、次世代半導体製造工場の試作ライン稼働や、大規模データセンターの建設など、苫小牧に大きな影響を与えるプロジェクトが進められ、さらなる経済発展のポテンシャルを秘めています。

一方で、活火山でありながら登山で人気の樽前山、ラムサール条約登録湿地のウトナイ湖など、自然が豊かであり、夏は冷涼、冬は雪が少ないという気候とあわせ、大変暮らしやすいまちでもあります。

また、このような自然環境を後世に残すべく、2021年にはゼロカーボンシティ宣言を行い、2023年には国から脱炭素先行地域として選定され、産業界を含め、まちをあげて地球温暖化対策に取り組んでいるところで。

私たちのまち苫小牧は、1973年に「人間環境都市」を宣言しています。人間主体のまちであることを前提に、快適な環境の中で、共に生き生きと暮らしながら、市民総活躍で社会に貢献し、未来に向かって挑戦をし続けることを目指してまちづくりを進めています。

この市勢要覧を通じて、苫小牧の現在に触れ、まちづくりの方向性を知っていただき、より苫小牧を身近に感じていただければ幸いです。

With 166,000 residents, Tomakomai, a city overlooking the Pacific Ocean, is the 4th most populous city in Hokkaido. The city is a major transportation hub due to its access to its "double ports": Tomakomai Port, an international hub port, and New Chitose Airport, Hokkaido's "gateway to the sky". Due to its excellent connection to transport routes, Tomakomai is a vibrant industrial hub city where a variety of industries are concentrated that leads Hokkaido's development

In addition, several projects that will have a significant impact on Tomakomai and have the potential to further its economic development, such as the operation of a prototype line for a next-generation semiconductor manufacturing plant and the construction of a large-scale data center, are underway.

Despite being an industrial city, Tomakomai is rich in nature. With Mt. Tarumae, an active volcano that is popular for mountain climbing, Lake Utonai, a Ramsar Convention designated wetland, cool summers, and little snowfall in winter, Tomakomai is a very comfortable place to live.

In order to preserve the city's natural environment for future generations, the entire city, including the industrial sector, is working to combat global warming. The city declared itself as a Zero Carbon City in 2021 and was selected by the government as a leading decarbonization area in 2023.

Tomakomai declared itself as a "Human-Centered City" in 1973. With the goal of being a city by the people, for the people, Tomakomai continues to cultivate a comfortable environment where everyone can live together, contribute to the community in their own way, and continue to aim for new heights as they look towards the future.

We hope that this city handbook will give you a glimpse into Tomakomai's present state, inform you of the direction of city development, and help you feel more familiar with our city.

座落于太平洋沿岸的苫小牧市，是一座拥有16.6万人口，位居北海道人口第四大城市。

苫小牧市，拥有国际港口的“苫小牧港”及北海道空中门户的“新千岁机场”，作为重要的交通枢纽，它汇集了多样化的产业。这座城市正在日新月异地蓬勃向上，已日益发展成为了一座引领北海道产业的中心城市。

苫小牧市还拥有更大的经济发展潜力。如目前正在实施的项目，新兴代半导体制造工厂的样机生产线的投入运行，以及大型数据中心的建设等等，都将为苫小牧市的发展产生重大影响。

此外，苫小牧市还拥有丰富的自然资源。有深受登山爱好者喜爱的活火山～樽前山，及被列入《拉姆萨尔公约》的湿地～乌托娜伊湖。这里夏季凉爽，冬季少雪，是一座名副其实的宜居城市。

为了保护这里丰富优质的自然资源，造福子孙，苫小牧市于2021年发布了《零碳城市宣言》，并于2023年被日本国政府评选为“脱碳领先城市”，包括工业在内的整个城市，都在竭尽全力地采取应对全球变暖的措施。

我市于1973年发布了《人类环境城市》的宣言。在以人为本的前提下，市民在舒适的环境中安居乐业的同时，都在为社会各尽其力，面向未来，迎接挑战，不断前行。

如果这本《苫小牧市要览》，能帮助您认识苫小牧这座城市，了解它的发展，让苫小牧这座城市能更进一步的走进您，则是我们最大的期待及荣幸。

Tomakomai nằm hướng ra Thái Bình Dương, và là thành phố đông dân thứ 4 ở Hokkaido với dân số 166.000 người.

Thành phố là một trung tâm giao thông quan trọng với cảng đôi là "Cảng Tomakomai" - cảng trung tâm quốc tế, và "Sân bay Chitose mới" - cửa ngõ hàng không của Hokkaido. Vì vậy, nơi đây tập trung nhiều ngành công nghiệp khác nhau, là một thành phố đầy năng động, phát triển, được xem như một thành phố trung tâm công nghiệp dẫn đầu Hokkaido.

Ngoài ra, các du khách có tác động lớn đến Tomakomai, chẳng hạn như vận hành tuyến thử nghiệm của nhà máy sản xuất chất bán dẫn thế hệ mới và xây dựng trung tâm dữ liệu quy mô lớn, đang được triển khai, mở ra tiềm năng phát triển kinh tế hơn nữa.

Một khác, nơi đây còn có thiên nhiên phong phú, với ngọn núi Tarumae nổi tiếng thu hút nhiều người đến leo núi dù nó là ngọn núi lửa đang hoạt động, hay hồ Utonai là vùng đất ngập nước đã được đăng ký theo công ước Ramsar. Với khí hậu mát mẻ vào mùa hè và ít tuyết vào mùa đông, thành phố cũng là nơi sinh sống vô cùng dễ chịu.

Ngoài ra, nhằm bảo tồn môi trường thiên nhiên này cho các thế hệ mai sau, thành phố đã tuyên bố trở thành thành phố không carbon vào năm 2021 và được chính phủ chọn là khu vực tiên phong trong việc khử carbon vào năm 2023. Toàn thành phố, bao gồm cả các ngành công nghiệp, đang tích cực triển khai các biện pháp chống biến đổi khí hậu.

Thành phố Tomakomai của chúng tôi đã tuyên bố là "Thành phố vì môi trường và con người" vào năm 1973. Với tiến độ lớn lấy con người làm trung tâm, chúng tôi đang sinh sống cùng với nhau một cách vui vẻ và khỏe mạnh trong một môi trường thoải mái, đồng thời hướng đến mục tiêu đóng góp cho xã hội bằng sự tham gia tích cực của người dân, tiếp tục đương đầu với các thử thách để hướng tới tương lai và tiến tới xây dựng thành phố.

Chúng tôi hy vọng rằng thông qua cuốn sổ tay giới thiệu khái quát về thành phố này, quý vị sẽ biết đến Tomakomai của hôm nay, từ đó hiểu được phương hướng phát triển của thành phố và cảm thấy gần gũi hơn với Tomakomai.



苫小牧市の概要

市名の由来

かつて、苫小牧川が流れる一帯を当時の河川名であったマコマイ(アイヌ語で「山奥に入っていく川」)と呼んでいました。沼のあった旧樽前山神社付近(現・矢代町)一帯はアイヌ語で沼の意味がある「ト」の字をつけて「ト・マコマイ」と呼ばれるようになり、今日の“苫小牧”になりました。

苫小牧市民憲章

〔昭和60年9月27日制定〕

あたたかい心でまちを つつみましよう
学びあいつくるよろこびを そだてましよう
花と木のかおりでまちを みたしましよう
さわやかな笑顔でぎまりを まもりましよう
生き生きとくらす力を のばしましよう

苫小牧市徽章

〔昭和24年8月22日制定〕



苫小牧を片仮名のトマコマイとし、「ト」と「マ」を周囲にとり、「コマ」は全体を通して独楽を図案化し、「ト」の字を「イ」とも読ませて市名に通じさせています。

苫小牧市ロゴマーク



令和5年に市制施行75周年を迎え、苫小牧市のさらなる発展を目指し、苫小牧市をPRするためのロゴマークを作成しました。デザインは一般公募246件の中から選ばれ、ウトナイ湖や樽前山と街並みの一体感が表現されています。

苫小牧市のシンボル



市の木
ナナカマド
(昭和48年3月15日制定)



市の木の花
ハスカップ
(昭和61年9月27日制定)



市の草の花
ハナショウブ
(昭和61年9月27日制定)



市の鳥
ハクチョウ
(平成2年9月23日制定)



市の貝
ホッキ貝
(平成14年7月20日制定)

姉妹都市と友好都市



東京都八王子市
昭和48年(1973年)8月10日盟約



栃木県日光市
昭和57年(1982年)4月16日盟約
平成18年(2006年)10月1日再盟約



ニュージーランド
ネーピア市
昭和55年(1980年)4月22日盟約



中国秦皇島市
平成10年(1998年)9月1日盟約

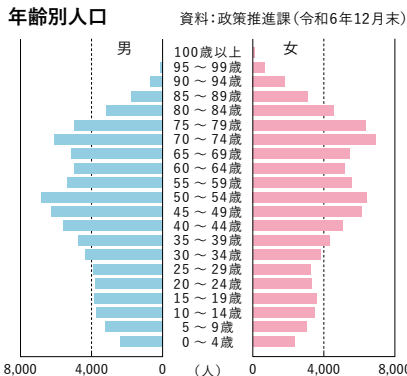
数字で見る苫小牧

統計からみた市民の暮らし(資料:苫小牧市統計書 令和5年版)



人口(令和6年12月31日現在 住民基本台帳)

総数 165,590人
男 81,259人
女 84,331人
世帯数 91,421世帯



Contents

- | | | |
|-----------------|---------------------|----------------|
| 1 市長あいさつ | 5 支え合い 助け合う「ふくし」のまち | 11 山、湖、豊かな自然環境 |
| 2 苫小牧市の概要 | 7 見る。遊ぶ。味わう。苫小牧 | 12 スポーツのまち 苫小牧 |
| 3 北海道を支える産業拠点都市 | 9 みんなが暮らしやすいまち | 13 苫小牧市のあゆみ |



4

City of welfare where people support and help one another
互相支持互相帮助的“福利”城市

Thành phố có “Fukushi (tương thân tương ái, đầy đủ phúc lợi)”
nơi mọi người giúp đỡ, hỗ trợ lẫn nhau



福祉と“ふくし”

困っている人を助けようとする素直な心、人のために役に立とうとする前向きな行動、自分のできる範囲で支えようとするさりげない気持ち。苦小牧市では、制度上の表現での“福祉”とは区別して、こうした心遣いをひらがなで“ふくし”と表現しています。



福祉

とまこまい医療介護連携センター

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、在宅医療などの相談や在宅医療を進める体制作りなどを行っています。

地域包括支援センター（とまほっと）

市内には7カ所の地域包括支援センターがあり、介護に関する困りごとや認知症に関することなど、生活のさまざまな相談に応じ、高齢者やその家族をサポートしています。

福祉ふれあいセンター

障がい者などの福祉の増進および社会参加の促進を図るため、発達に遅れの見られる児童の相談・療育支援を行うほか、障がい者に対する活動の場を提供しています。

ふくし総合相談窓口

市民の皆さまが抱えている困りごとや、どこに相談してよいかわからない悩みごとを、幅広くお受けしています。



サポーター養成事業

ちょっとした心遣いを行動に移していただく環境づくりに向けて、各種事業に取り組んでいます。



あいサポーター研修



認知症サポーター養成講座

福祉トイレカー「とまレット」

障がいのある方や高齢者などの車いす利用者が、外出時に安心してトイレができるよう、市内の主要イベントなどに出勤し、支援を行います。



ふくし関連イベント

ライト・イット・アップ・ブルー（自閉症啓発運動）



リレー・フォー・ライフ（がん患者支援運動）



RUN伴（認知症啓発運動）



健康

質の高い医療サービスの提供

東胆振の中核である苦小牧には、苦小牧市立病院と王子総合病院の2つの広域中核病院をはじめ、180を超える医療機関があります。近隣自治体からの利用者も多く、地域医療を支えています。



充実した保健事業

健康診断やがん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳）、歯周病検診やエキノコックス症検診など、ご自身の健康状態をより知っていただくための保健事業が充実しています。また、40歳以上の国保・後期高齢者医療制度の加入者を対象に、健康診査と胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診が無料で受けられる「タダとく健診」や、30歳以上の国保の加入者を対象に「プレ特定健診」を実施し、病気の早期発見・予防の強化に努めています。

子育て

子育て支援センター

親子で遊んだり、利用者間の交流の場としてプレイルームの開放や、子育ての不安・悩みなどの相談、各家庭に応じた保育サービスの情報提供を行っています。また、市内にはほかに4カ所の子育てルームがあり、毎月各種イベントが開催され、親子のふれあいの場となっています。



児童センター

市内7カ所の児童センターは、子どもの遊び場、中高生の居場所、乳幼児の親子遊び、利用者の交流の場として利用でき、子育ての相談窓口にもなっています。

ファミリー・サポート・センター

子育ての援助を行いたい人と、受けたい人で会員組織をつくり、安心して子育てできる環境づくりをサポートしています。

ふくし大作戦

これまで4回にわたり「ふくし大作戦」を実施し、ふくしのころ・ふくしの気持ちと向きあって行動し、住みやすい、笑顔あふれるふくしのまちを目指して、さまざまな事業を展開してきました。



見る。遊ぶ。味わう。苫小牧

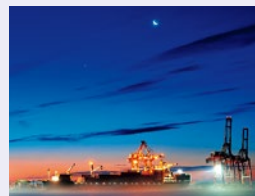
見る

工場夜景

市内各所には、工場夜景を楽しめるスポットが数多くあります。



晴海公園



東港国際コンテナターミナル



フェリーターミナル&入船公園



真砂町

錦大沼ハナショウブ園

市の草の花にも制定されている「ハナショウブ」を楽しむことができます。



美術博物館（あみゅー）

年間を通してさまざまな展覧会が開催され、自然・歴史・考古資料や美術作品を収蔵・展示しています。



緑ヶ丘公園展望台

展望台からは、樽前山麓の広大な自然がおりなす風景と、市内の街並みを一望することができます。また、夜景スポットとしても人気です。



科学センター

世界に1機しかない宇宙ステーション「ミール」を見学でき、太陽光発電学習コーナーなど科学に関する展示や、プラネタリウムがあります。



遊ぶ

ノーザンホースパーク

1年を通して馬とふれあえるテーマパーク。乗馬体験や観光馬車、ポニーショーをはじめ、サイクリングや各種スポーツなどのアウトドアアクティビティも楽しめます。



イコロの森

北国ならではの11のガーデンをくつろぎながら楽しむことができます。



オートリゾート苫小牧 アルテン

キャンプサイト・コテージ・温泉・パークゴルフなど充実した施設を備えたオートキャンプ場です。電源付きキャンプサイトやコテージ・温泉・バーベキューコーナーには、Wi-Fiが完備されています。



味わう

ぷらっとみなと市場

苫小牧の新鮮な海産物・食材が集結。軒を連ねる飲食店では旬の味覚が楽しめます。



ホッキカレー

苫小牧のソウルフード「ホッキカレー」を求めて、市内外の多くの人が食堂に列をなす光景は、すっかりお馴染みとなりました。



カレーラーメン

文化庁が取り組みを進める「100年フード」に、とまこまいカレーラーメン振興局が申請した「とまこまいカレーラーメン」が認定されました。

ハスカップ

市の木の花にも制定されている「ハスカップ」を使った加工品は、お土産の定番としても定着しています。



道の駅ウトナイ湖

苫小牧のさまざまな名産・特産品が販売されています。



一年中 お祭りがある!!

夏と冬の2大祭りをはじめ、一年を通してさまざまなお祭りが開催されます!



緑ヶ丘公園まつり



苫小牧アートフェスティバル



とまこまい港まつり



たるまえサンフェスティバル



TOMAKOMAI MIRAI FEST



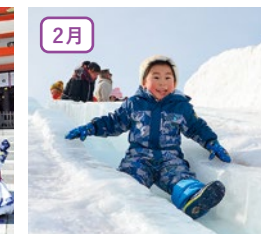
苫小牧漁港ホッキまつり



東胆振物産まつり



とまこまいコスプレフェスタ



とまこまいスケートまつり



みんなが暮らしやすいまち

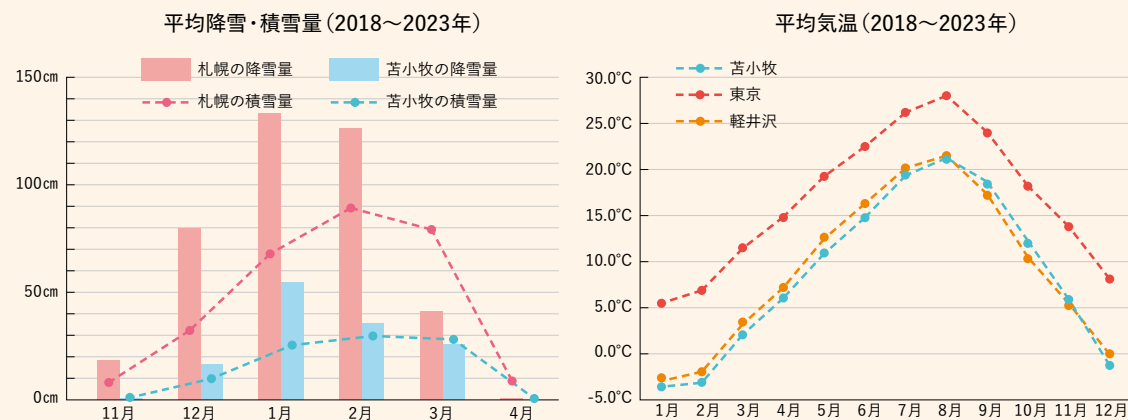
A city where everyone
can live comfortably
大家的宜居城市
Thành phố nơi mọi người
sinh sống thoải mái



暮らしして実感「住みよいまち」

快適な気候

北海道の都市の中でも比較的降雪・積雪が少なく、気温は避暑地として有名な軽井沢と年間を通してほぼ同じとなっています。



利便性の高い生活環境

市内には大型ショッピングモールがあり、ホームセンターやドラッグストア、コンビニエンスストアも点在しています。駐車場を備えている病院やスーパーが多く、自家用車での移動が便利です。



外国人も暮らしやすい

日常生活の困りごとについて、多言語で相談を受け付けています。また、ボランティアによる日本語教室も行っています。



市役所国際交流サロン



日本語教室の様子

万全な防災対策

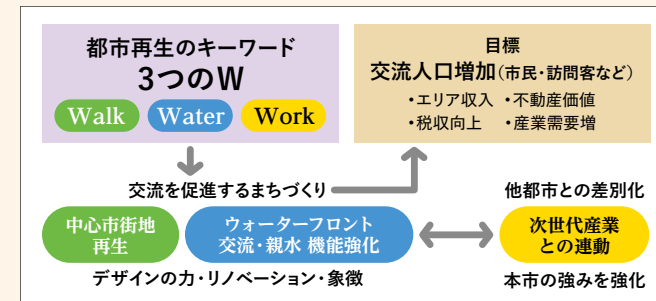
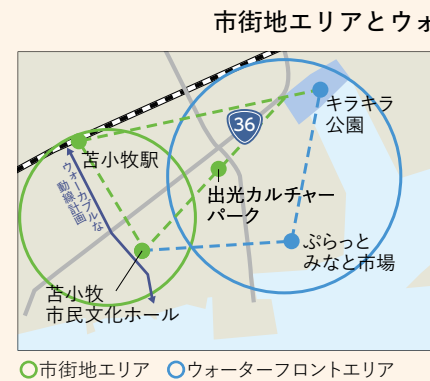
万が一の火山噴火、地震、津波などの自然災害に備え、総合防災訓練の実施や防災ハンドブック、さまざまなツールを活用した情報発信など、日頃からあらゆる防災対策を行っています。



これからのまちづくり

苫小牧都市再生コンセプトプラン

ものづくり産業のさらなる展開、臨海ゾーンにおけるロジスティクスの展開、臨空ゾーンにおける国際リゾートの展開というダブルポートシティの特性を生かした成長戦略を掲げており、これらの方向性を示す「苫小牧都市再生コンセプトプラン」を2021年3月に策定しました。



中心市街地



シンボルストリート



西港北ふ頭エリア

〈イメージパース〉

苫小牧市民文化ホール

文化・芸術に係る活動と交流を振興する新たな拠点「サードプレイス」となる「苫小牧市民文化ホール」が、2026年3月に開業予定です。



外観のイメージ図

ワーケーションの取り組み

市内にワーケーション拠点を整備し、交流人口や関係人口の拡大に繋げる取り組みを行っています。



男女平等参画宣言都市とまこまい

2013年に北海道で初めてとなる男女平等参画都市を宣言し、2017年には全国規模の大会である「日本女性会議2017とまこまい」を開催しました。また、市民、団体、企業が市長と直接対話する「市長とジェンダーミーティング」の取り組みが評価され、北海道の自治体として初めてPRIDE指標2024を受賞するなど、性別を越え、誰もがいきいきと暮らす男女平等参画社会の実現を目指しています。



第9回市長とジェンダーミーティング(2025年)



大会報告書

山、湖、豊かな自然環境

自然

ウトナイ湖

動植物の宝庫、野鳥の楽園ともいわれるウトナイ湖は1991年にラムサール条約登録湿地となりました。現在までに270種を超える野鳥が確認されており、バードウォッチングのスポットとしても有名です。



オオハクチョウ

■ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

自然環境や野生鳥獣についての展示や情報提供、傷病鳥獣の救護を行っています。また、環境教育やイベントなども実施しています。



マジロ



エナガ(シマエナガ)



アカゲラ



樽前山

樽前山は、北海道の天然記念物に指定されている溶岩円頂丘(ドーム)を持った、世界的にも珍しい三重式火山です。市内から七合目ヒュッテまでは車で約60分、七合目から頂上までは徒歩で約50分で登ることができます。

環境

ゼロカーボンシティへの挑戦

2021年に「ゼロカーボンシティ」への挑戦を宣言し、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにする取り組みを進めています。2023年には、本市の取り組みが環境省の「脱炭素先行地域」に選定され、地域の特色を生かしたプロジェクトを推進しています。苫小牧の豊かな自然や環境を未来に残すため、まちぐるみで「ゼロカーボンシティ」と「053(ゼロごみ)のまち」の実現に向けて様々なチャレンジをしています。

※053(ゼロごみ)は、苫小牧の郵便番号にちなんで「053」が環境標語になったものです。



苫小牧のおいしい水「とまチョップ水」

「とまチョップ水」は、モンドセレクション2019および2022において金賞を受賞し、国際的に品質が認められました。水道水のおいしさの秘密は、樽前山麓の豊かな森林と砂れきなどによる天然で精美なる過によって、炭酸ガスや豊富なミネラルが与えられるから。生活に欠かせない水道水は、安全・安心でおいしいものが良いですね。



氷都とまこまい

昔から「スケートのまち」として知られている苫小牧。スケート競技の中でも「アイスホッケー」は、苫小牧を拠点とする「レッドイーグルス北海道」があり、アイスホッケー女子日本代表「スマイルジャパン」のメンバーには苫小牧ゆかりの選手が多く選出されています。

また、「全国高等学校選抜アイスホッケー大会(氷上の甲子園)」の開催地でもあります。



© Reiji Nagayama

■スケート施設



nepia アイスアリーナ



ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ



新ときわスケートセンター



ときわスケートセンター



ハイランドスポーツセンター

スポーツ都市宣言

1966年に苫小牧市は全国で初めて「スポーツ都市宣言」を行いました。この宣言以降、年代問わず多くの人々が、さまざまなスポーツを楽しんでいます。



近年の苫小牧ゆかりのアスリート



開 心那 選手
スケートボード
苫小牧市在住



菊地 史玖 選手
野球
苫小牧市出身



伊藤 大海 選手
野球
苫小牧駒澤大学出身
※現・北洋大学

Wealthy natural environment
with mountains and lakes

山、湖、丰富的自然环境

Môi trường thiên nhiên
phong phú với núi và hồ



Tomakomai, a city of sports

运动之城苫小牧

Thành phố của thể thao
Tomakomai





苫小牧市のあゆみ

勇払に会所を置く
八王子千人同心、原新介ら勇払（鵜川）に移住する

蝦夷地を北海道と改め、当地方は、胆振国勇払郡となる

高知藩70余名を勇払、千歳に派遣、分領支配と開拓を始める

開拓使と高知藩の事務引継ぎ完了し、高知藩引揚げる

勇払郡開拓使出張所を苫細（苫小牧）に移転
苫細を苫小牧と改称

勇払外五郡郡役所（勇払・白老・千歳・沙流・新冠・静内）を苫小牧村に設置

苫小牧村に、苫小牧外15ヶ村戸長役場を設ける（初代戸長 原直次郎氏）

北海道炭礦鉄道（現在の室蘭本線）が開通。苫小牧駅が開業

2級町村制を施行し樽前村、覚生村、錦多峰村、小糸魚村、苫小牧村、勇払村、植苗村を合併し、苫小牧村となる（初代村長 山崎初吉氏）

樽前山中規模噴火、溶岩ドーム形成

王子製紙苫小牧工場が操業開始

2級町村制のまま町村施行（初代町長 下川重島氏）

1級町村制を施行（初代町長 鈴木善治氏）

苫小牧大火、市街地の約3分の1にあたる1,007戸を焼失

北海道庁林千秋技師が「勇払築港論」を提唱

北海道鉄道札幌線（現在の千歳線）が開通

飯田誠一氏が二代目町長となる

町営リンク完成

八巻耕三氏が三代目町長となる／「工業港苫小牧の将来とその使命」を発行。翌14年、北海道庁で「勇払工業港修築計画書」を策定。

翌15年、「苫小牧工業地帯計画」を策定

第11回明治神宮国民体育大会冬季大会スケート大会開催
大日本再生製紙（現日本製紙）勇払工場操業開始

昭和16（1941）年

昭和22（1947）年

市制施行（初代市長 田中正太郎氏／人口33,000人）

苫小牧市徽章制定

第5回国民体育大会開催（スケート）／市広報紙刊行／上水道敷設工事開始

市営バス運行開始／第1回観光まつり港まつりの前身）開催

苫小牧工業港起工式

下水道工事着手／市教育委員会発足／市庁舎新築

第9回国民体育大会開催（柔道）

第1回港まつり開催

王子製紙無期限ストに突入／苫小牧港開発株式会社設立

苫小牧港開港／大泉源郎氏が二代目市長に就任

苫小牧駒澤短期大学開校／

苫小牧港管理組合発足

苫小牧港外国貿易港に指定／

苫小牧市スポーツ都市宣言

西部工業団地進出企業第一号の日之出

化学工業株 操業開始



1963年
苫小牧港 開港

道の総合開発委員会会で苫東大規模工業基地開発計画案を決定

フェリー第1船入港／苫小牧東部開発株式会社設立

市制施行25周年／人間環境都市宣言／出光興産 株 北海道製油所操業開始

／八王子市と姉妹都市提携／市の木に「ナナカマド」を制定

第29回国民体育大会開催（スケート）

苫小牧東港現地着工

ネーピア港（ニュージーランド）と姉妹港提携／駅前バスターミナル開設

第35回国民体育大会開催（スケート・アイスホッケー）／人口15万人達成／ネー

ピア市（ニュージーランド）と姉妹都市提携／苫小牧東港入船式一部供用開始

ウトナイ湖サンクチュアリ指定／苫小牧港が特定重要港湾に昇格／苫東の

国家石油備蓄基地着工

いすゞ自動車北海道工場が苫東工業基地D地区で建設着工／日光市と姉妹

都市提携／新苫小牧駅完成

市庁舎完成／板谷實氏が三代目市長に就任

いすゞ自動車 株 北海道工場操業開始／国家石油備蓄基地にオイルイン開始

中国秦皇島港と友好港湾提携／市民憲章制定

市の木の花に「ハスカップ」草の花に「ハナシヨウブ」を制定／旭大通アンダー

パス開通

鳥越忠行氏が四代目市長に就任／暴力追放宣言

苫小牧市基本構想改定／道央テクノポリス開発機構設立

History of Tomakomai City
苫小牧市の歴史
Lịch sử phát triển của thành phố Tomakomai



1991年
ウトナイ湖ラムサール条約登録湿地に

道央テクノポリス地域指定／人口16万人達成／第44回国民体育大会開催（フエッシング・軟式庭球）／外国貿易船入港1万隻達成

トヨタ自動車 が苫小牧西部工業団地へ立地表明。翌3年5月工場建設に着手

／市の鳥に「ハクチョウ」を制定

苫小牧観光協会が社団法人化／

ウトナイ湖と周辺510ヘクタールがラムサール条約登録湿地となる

苫小牧港が動物検疫港に指定

／フェリー旅客1千万人突破

千歳・苫小牧地方3市4町が地方拠点都市に

指定される／市民文化公園完成

／トヨタ自動車北海道 株 竣工

天然ガスパイプライン起工式

スポーツマスター制度実施／TSL実験船苫小

牧港入港／人口17万人達成

白鳥アリーナ完成／スポーツ都市宣言30周年

入船国際コンテナターミナル完成

苫小牧駒澤大学開学／緑ヶ丘公園展望台オープン／市制施行50周年記念式典開催／中国秦皇島市と友好都市提携／苫小牧市テクノセンターオープン／文化交流センターオープン

沼ノ端クリーンセンター・リサイクルプラザ苫小牧オープン／東港に日本海

航路のフェリー就航／錦大沼公園と温浴施設「ゆのみ湯」オープン／宇宙ステーションミール展示館オープン

沼ノ端スケートセンターオープン／市営バス開業50周年

勇武津資料館オープン／苫小牧市民文化芸術

振興条例制定

苫小牧市福祉のまちづくり条例制定／苫小牧

市非核平和都市条例制定／勇払マリーナオー

プン／市の貝に「ホッキ貝」を制定／ウトナイ湖

野生鳥獣保護センターオープン／

ISO14001の承認を取得

櫻井忠氏が五代目市長に就任

駒大苫小牧高校全国高等学校野球選手権大会初優勝 86回大会

臨海東通アンダーパス開通／東港区中央埠頭多目的国際ターミナル第1船入港／駒大苫小牧高校全国高等学校野球選手権大会2連覇 87回大会

苫小牧市自治基本条例施行／全国植樹祭開催

レジ袋有料化協定締結

苫小牧市市民参加条例施行／教育・福祉センターオープン

／道の駅「ウトナイ湖」オープン

廃プラスチック資源回収開始／王子製紙（株）苫小牧工場操業100周年

／ネーピア市姉妹都市締結30周年

／沼ノ端スポーツセンターオープン

苫小牧市公式キャラクター「とまチョップ」誕生

／ウトナイ湖ラムサール条約湿地登録20周年

苫小牧市非核平和都市条例制定10周年

苫小牧港開港50周年／家庭ごみ有料化開始

／美術博物館オープン／苫小牧市男女平等

参画都市宣言

東胆振1市4町による定住自立圏構想中心市宣言

／新とまわスケートセンターオープン

／まちなかの新たな集客拠点、COCOTOMAOオープン

定住自立圏形成協定締結／緑ヶ丘公園陸上競技場リニールオープン

スポーツ都市宣言50周年／とましんスタジアムリニールオープン／緑ヶ丘

公園庭球場リニールオープン

苫小牧市手話言語条例制定／日本女性会議2017とまこまい開催

市制施行70周年／北海道胆振東部地震発生

／沼ノ端交流センターオープン

ウトナイ交流センター展望施設オープン

／「とまチョップ水」モンドセレクション

2019金賞を受賞／苫小牧市受動喫煙

防止条例制定

地方版図柄入りナンバープレート

「苫小牧ナンバー」交付開始

／苫小牧中央インターチェンジ開通

苫小牧市こども相談センター開設／北海道

苫小牧支援学校開設／ゼロカーボンシティ

への挑戦を宣言／全国育樹祭開催

TOMAKOMAI MIRAI FEST 初開催／東開文化交流サロンオー

ブン／「とまチョップ水」モンドセレクション2022金賞を受賞

パートナーシップ制度開始／「苫小牧市」ロゴマーク完成

とまこまい国スポ2024開催

／苫小牧市ヤングケアラー支援条例施行（道内初）

／金澤俊氏が七代目市長に就任



2020年
走る広告塔 地方版図柄入り
ナンバープレート「苫小牧ナンバー」
交付開始